

一般会計は市の予算の中心。最も大

収入と支出のことを市の財政では「歳入・歳出」と呼びます。

より良い地域社会を実現するため、市民が納める税金などのお金を
あらかじめ使い道を決め計画的に役立てる、それが予算です。

なかでも一般会計予算は最も金額が大きく、幅広い分野を含んだものです。

歳入

対前年度76億円
(14.7%)の増

義務教育施設の再生整備、産学
交流・研究開発施設整備及び京
浜急行大師線連続立体交差事業
などの進捗によるものです。

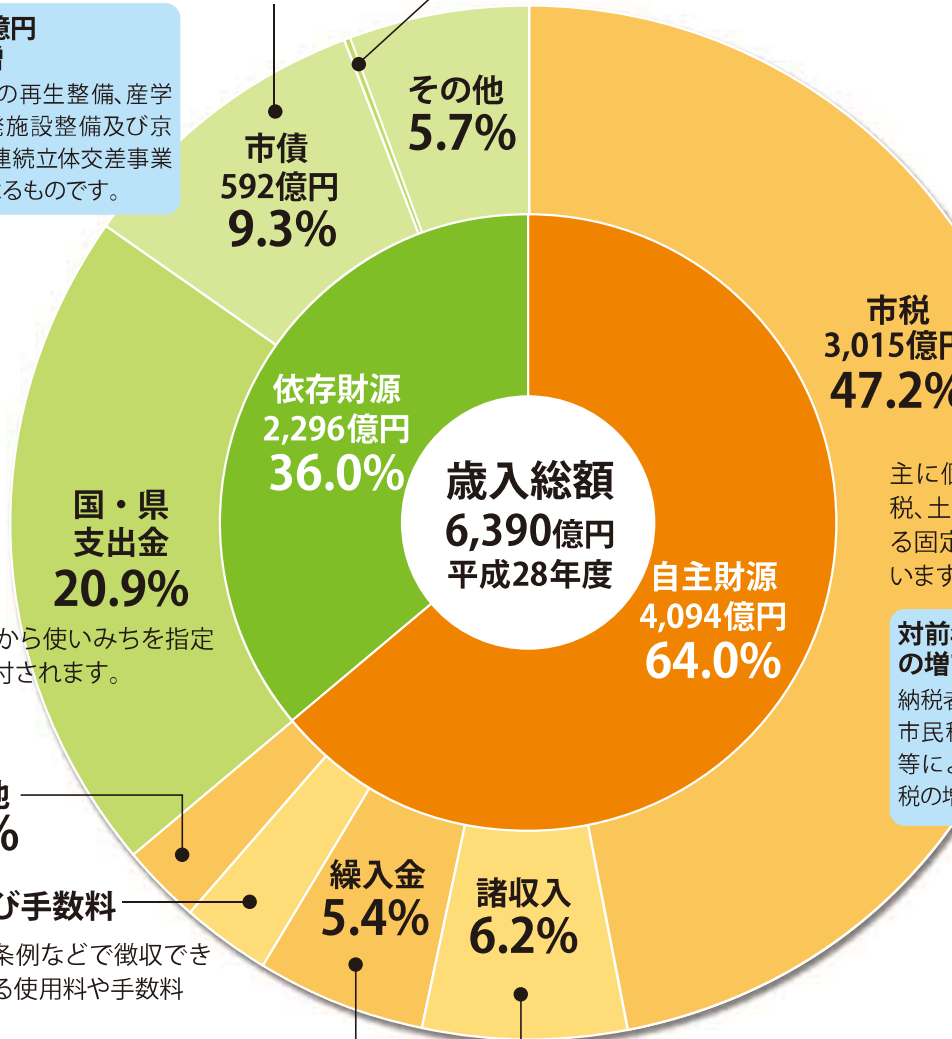
市の施設をつくるなどの
目的で行う「市の借金」
です。市債は市民も買う
ことができます。

関連記事▶P.19

地方交付税 0.1%

地域(地方自治体)ごとの
税収の差を調整するため
に国から配分されるお金。

私のお金が
社会のために
活かされる
のですね!



主に個人や法人が納める市民
税、土地や家屋などに課税され
る固定資産税が2本柱となっ
ています。

対前年度52億円(1.8%)
の増で過去最大
納税者数、所得の増加による個人
市民税の増加や、家屋の新增築
等による固定資産税、都市計画
税の増加などによるものです。

国や県から使いみちを指定
して交付されます。

その他
2.5%

使用料及び手数料
2.7% 条例などで徴収でき
る使用料や手数料

基金(市の貯金)から取り崩すお金や、特
別会計のおサイフから入ってくるお金など
です。

繰入金
5.4%

諸収入
6.2%

宝くじや競輪、競馬などの収入
金の一部は、皆さんの身近な
生活に役立てられています。

関連記事▶P.22



ことばの 解説②

自主財源と 依存財源

じしゅざいげん といぞんざいげん

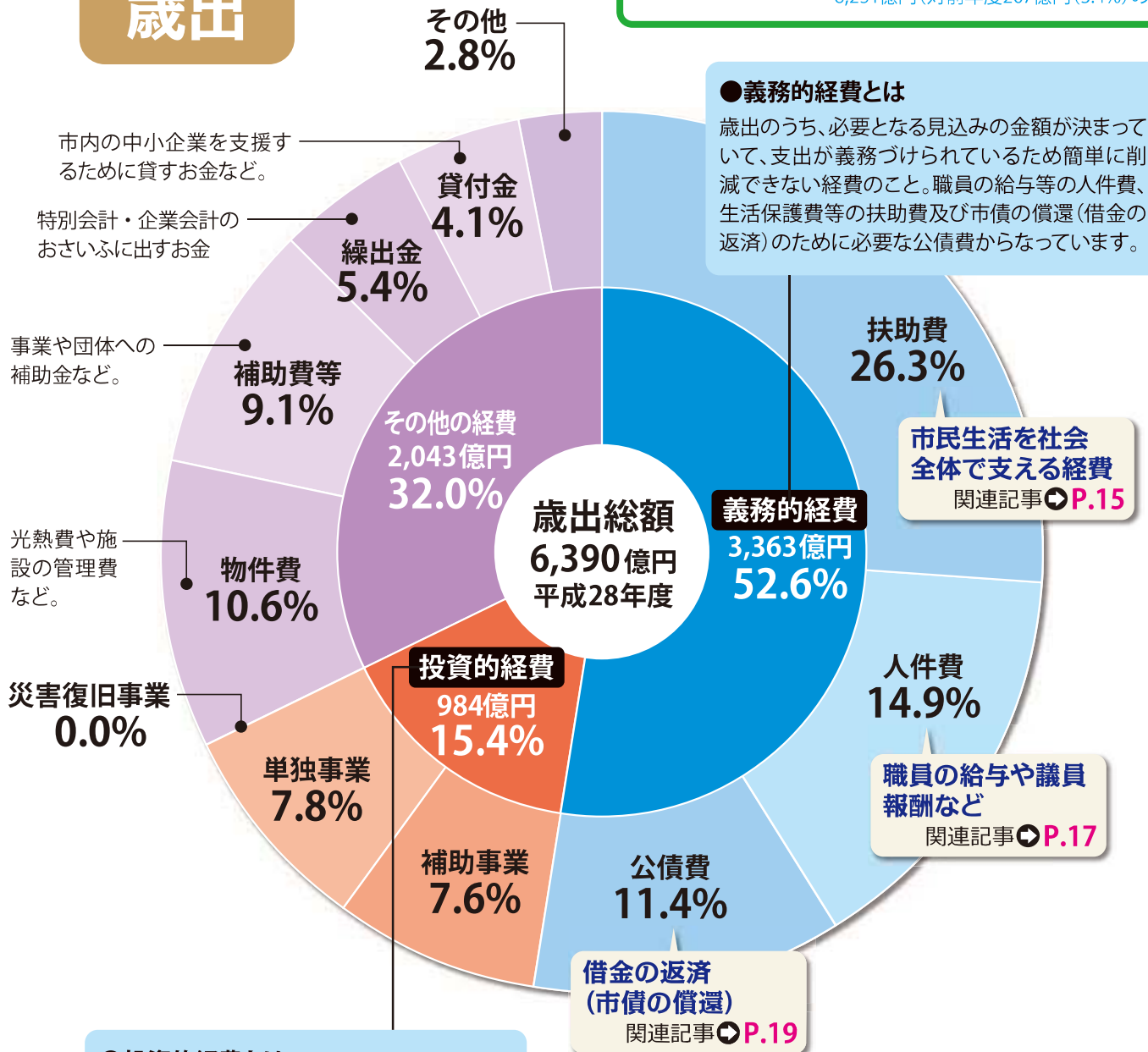
「自主財源」は市が自主的に集めることのできるお金。この割合が高いほど
自主的な運営がしやすくなると考えられます。

一方、「依存財源」は国や県の考え方を反映させ、決まった額を受け取るお金
のことです。

きな「おさいふ」です。

平成28年度 一般会計予算

歳出



POINT

- **予算規模 6,390億円は過去最大!**
前年度と比べ201億円(3.2%)*増加し過去最大の規模です。これは京浜急行大師線連続立体交差事業や、義務教育施設の再生整備・予防保全の進捗などが要因です。
- **減債基金新規借入金92億円**
極めて厳しい財政状況においても、「最幸のまちかわさき」の実現に向けた取組を切れ目なく推進します。
※過去の減債基金借入金139億円を除いた場合
6,251億円(対前年度207億円(3.4%)の増)

● **義務的経費とは**
歳出のうち、必要となる見込みの金額が決まっている、支出が義務づけられているため簡単に削減できない経費のこと。職員の給与等の人件費、生活保護費等の扶助費及び市債の償還(借金の返済)のために必要な公債費からなっています。

● **投資的経費とは**
道路や学校の建設費など。国の補助を受けて行うもの(補助事業)と、市が単独で行うもの(単独事業)、また、災害で壊れた道路などをなおすために行うもの(災害復旧事業費)があります。

義務的経費はいわゆる「固定費」とおきかえて見ることができますね。

